

# 京都府漁海況情報

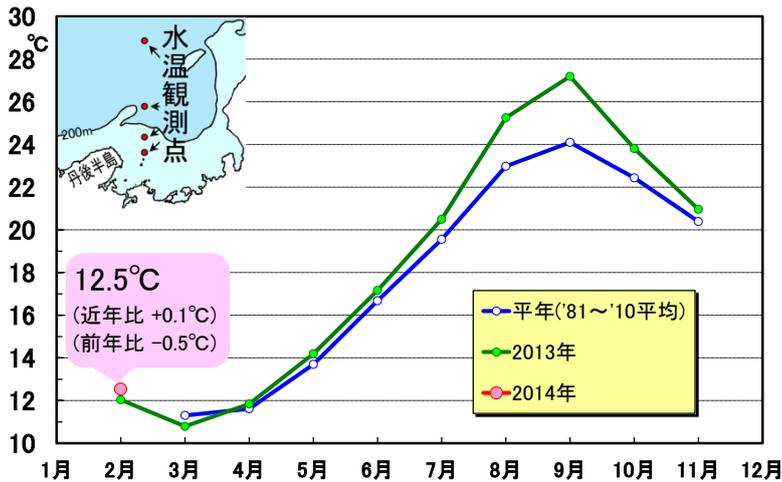
## 海の状況

京都府農林水産技術センター海洋センター 海洋調査部  
<http://www.pref.kyoto.jp/kaiyo/>  
 電話：0772-25-3078 FAX:0772-25-1532

### 【現況】

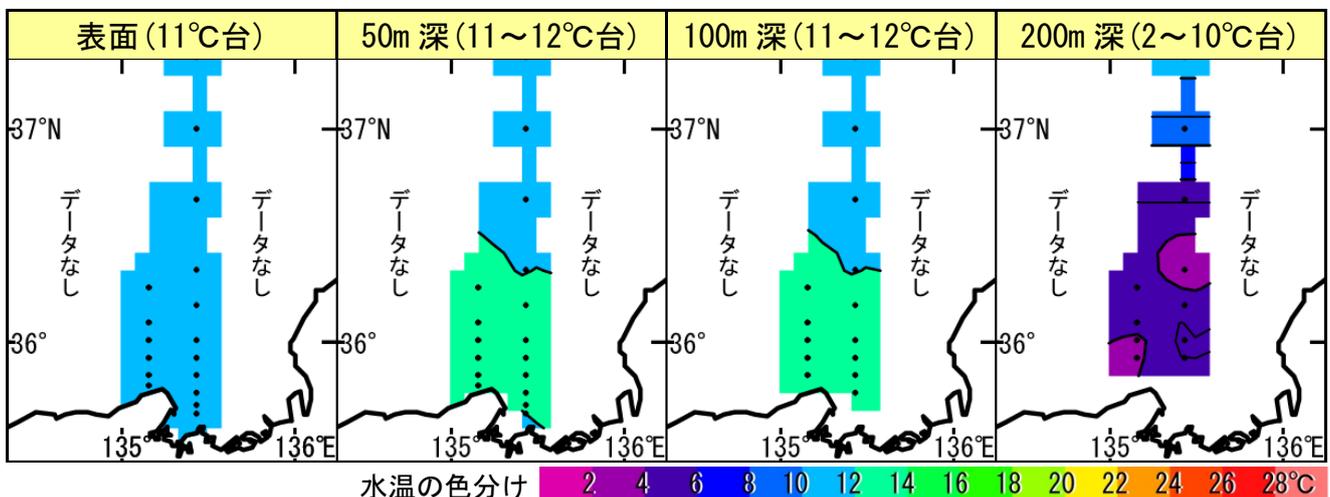
2月上旬における京都府周辺の表層水温は、近年の平均的な状況(過去10年平均値)と同程度で推移していました。

京都府沖の表層水温(0~50m 深平均)



京都府周辺の各層水温(2014年2月上旬)

資料元：(独)日本海区水産研究所



### 【今後の見込み】

資料元：気象庁、(独)日本海区水産研究所

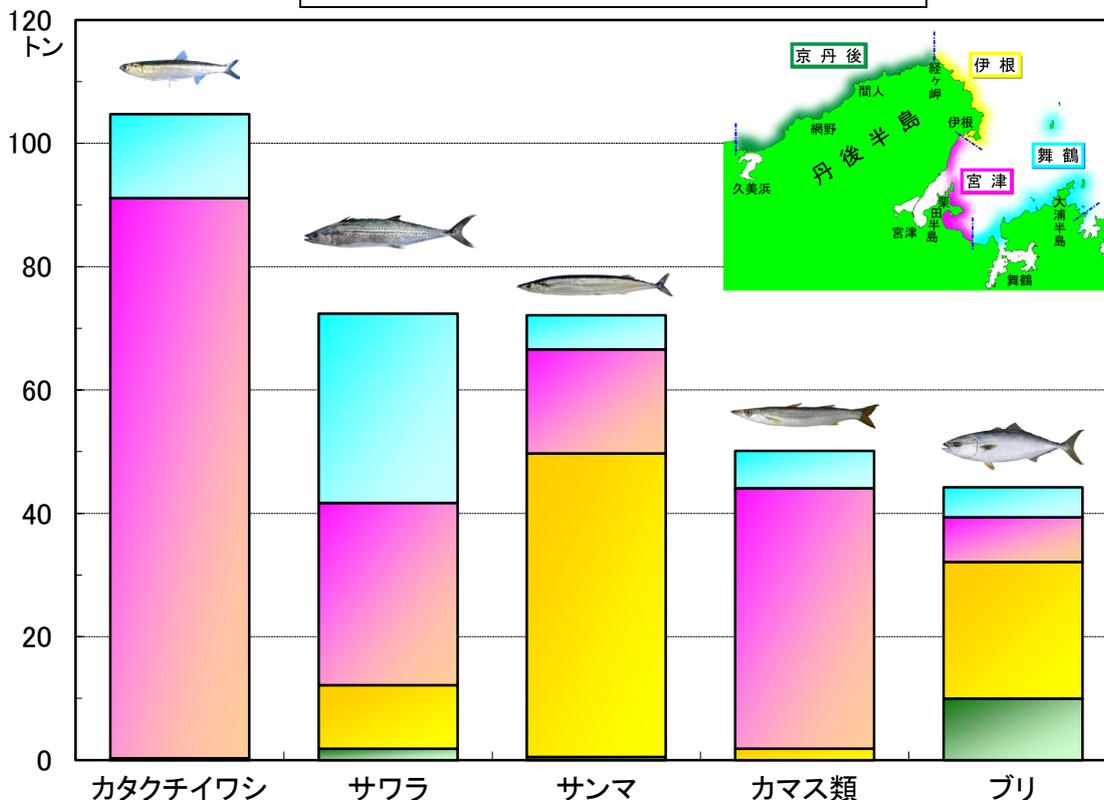
向こう1か月程度の予報	
京都府周辺の表層水温	「平年より低め」で推移する見込み
対馬暖流の勢力	「平年並み~平年より強め」で推移する見込み

# 漁模様 ～2014年1月～

## 【定置網漁業】

全体の水揚量は、前年の8割強および平年の8割弱でした。

2014年1月の地域別漁獲量(上位5魚種)



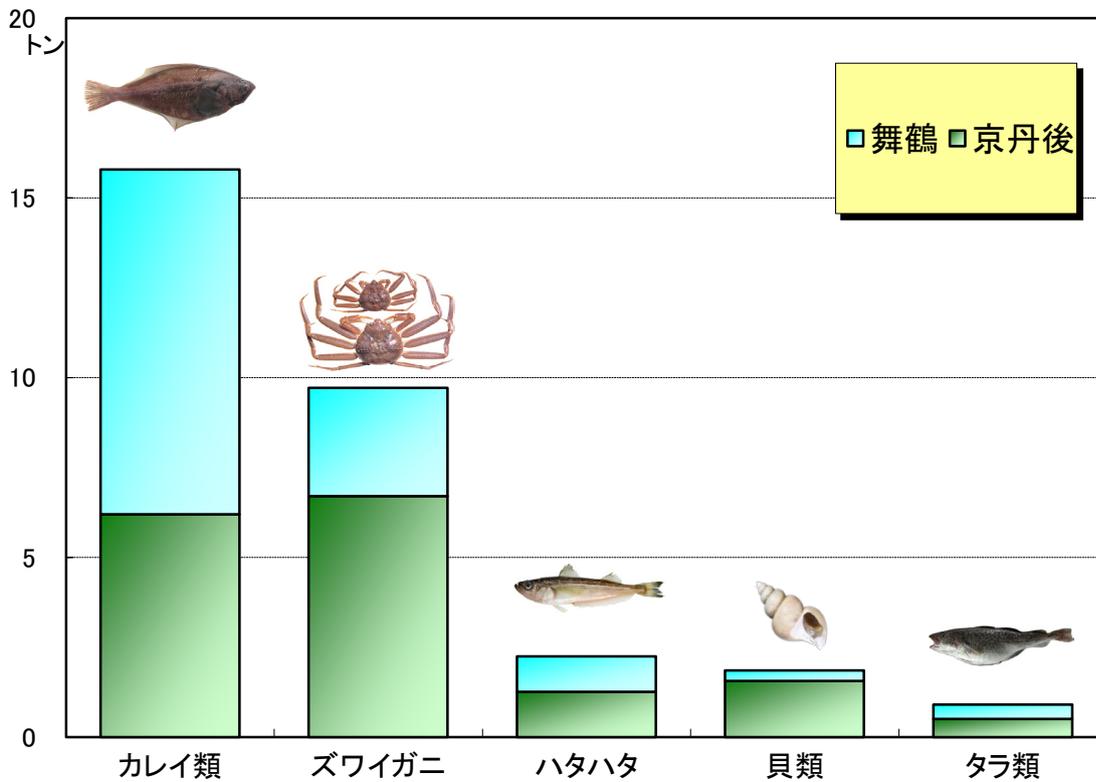
1月漁獲量(トン) 京都府漁協集計				
魚種	2014年	2013年(前年比)	平年(平年比)	備考
カタクチイワシ(たれ)	104.7	16.4 (640%)	79.1 (132%)	<カタクチイワシ> 体長の範囲は3～13cm台でした。
サワラ	72.4	169.1 (43%)	129.7 (56%)	<サワラ> さごし銘柄(尾さ長 42～52cm 主体)が6割, より大型のさわら銘柄は4割でした。
サンマ	72.1	39.4 (183%)	10.7 (671%)	<ブリ> つばす銘柄(尾さ長 34～44cm 主体)が7割強, ぶり銘柄が2割(尾さ長 80～90cm 級主体), まるご銘柄とはまち銘柄が若干量でした。
カマス類	50.1	53.3 (94%)	18.7 (268%)	<イカ類> ソデイカ(たるいか)が7.6トン, ケンサキイカ(白いか)が6.9トン, ヤリイカ(冬いか)が4.9トン, アオリイカ(秋いか)が2.5トンなどでした。
ブリ	44.2	129.1 (34%)	95.5 (46%)	
マグロ類	32.2	31.6 (102%)	16.4 (197%)	
イカ類	23.9	31.3 (76%)	32.1 (75%)	
マルアジ(青あじ)	21.1	6.7 (317%)	23.0 (92%)	
マアジ	17.6	24.1 (73%)	89.9 (20%)	
ヒラマサ	11.4	10.4 (110%)	3.7 (306%)	
その他	50.6	88.7 (57%)	164.0 (31%)	
合計	500.4	599.9 (83%)	662.8 (75%)	

平年は過去10年平均

## 【底曳網漁業】

全体では前年の8割弱、平年の7割の水揚げでした。

2014年1月の漁獲量(上位5魚種)

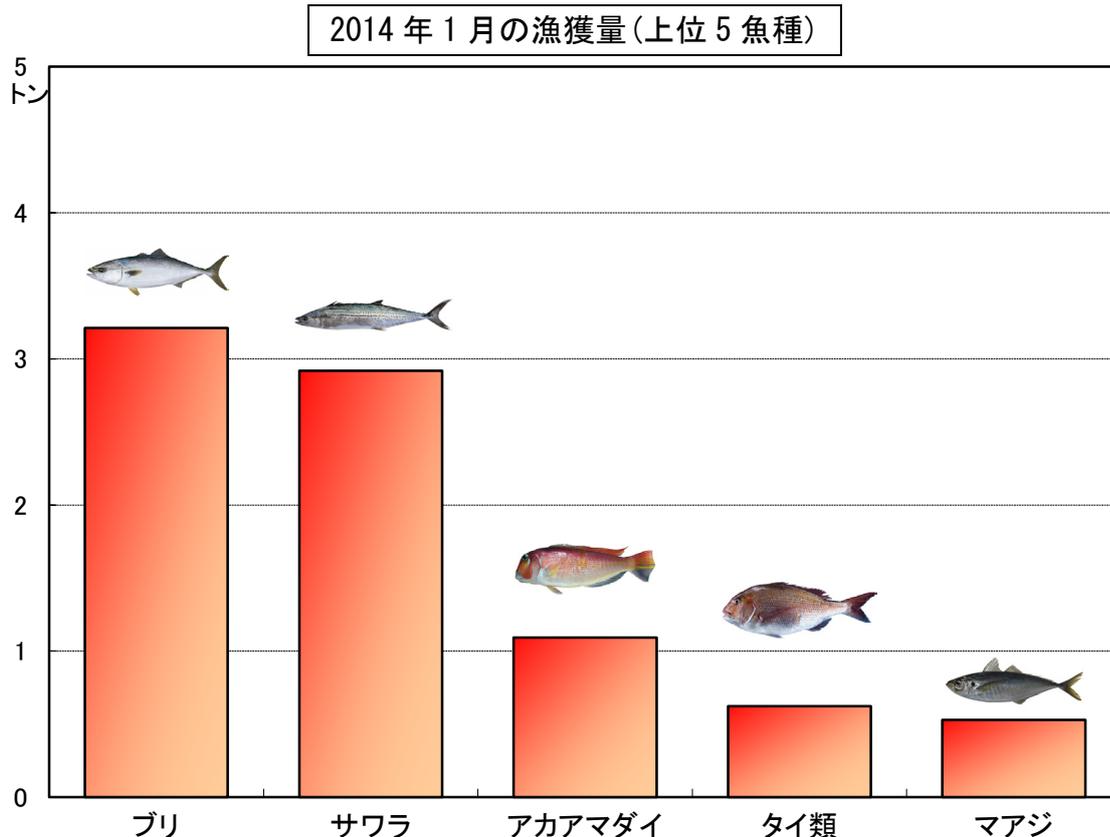


1月漁獲量(トン) 京都府漁協集計				
魚種	2014年	2013年(前年比)	平年(平年比)	備考
カレイ類	15.8	20.3 (78%)	16.5 (96%)	<カレイ類> アカガレイ(まがれい)が 13.6 トン, ヒレグロ(黒がれい)が 1.5 トン, ソウハチ(えてがれい)が 0.6トンなどでした。 <ズワイガニ> オス(間人がに, 舞鶴かに)が 5.7トン, メス(せこがに)が 4.0 トンでした。
ズワイガニ	9.7	9.3 (105%)	11.0 (88%)	
ハタハタ	2.2	4.5 (49%)	12.7 (18%)	
貝類	1.9	1.5 (125%)	1.1 (174%)	
タラ類	0.9	1.9 (49%)	0.5 (183%)	
タイ類	0.7	0.9 (82%)	0.3 (237%)	
タコ類	0.5	0.9 (51%)	1.2 (41%)	
エビ類	0.4	0.4 (97%)	0.9 (48%)	
メバル類	0.1	0.1 (215%)	0.1 (235%)	
アンコウ	0.1	0.2 (35%)	0.1 (55%)	
その他	1.4	3.8 (37%)	3.6 (40%)	
合計	33.8	43.9 (77%)	47.8 (71%)	

平年は過去10年平均

## 【釣り・はえなわ漁業】

全体の水揚量は、前年の9割および平年の7割弱でした。



1月漁獲量(トン) 京都府漁協集計					
魚種	2014年	2013年(前年比)	平年(平年比)	備考	
ブリ	3.2	2.8 (115%)	5.7 (56%)	<ブリ> つばす銘柄が6割, まるご銘柄が2割強, はまち銘柄が1割, ふり銘柄が若干量でした。 <サワラ> さごし銘柄が6割強, より大型のさわら銘柄は4割弱でした。 <タイ類> マダイが6割弱, キダイ(レンコダイ)が4割強, クロダイが若干量でした。 <イカ類> ヤリイカ(冬いか)が0.2トン, ソデイカ(たるいか)やケンサキイカ(白いか), アオリイカ(秋いか)が若干量でした。	
サワラ	2.9	2.6 (113%)	2.7 (109%)		
アカアマダイ(ぐじ)	1.1	2.1 (51%)	1.2 (93%)		
タイ類	0.6	1.0 (61%)	1.0 (65%)		
マアジ	0.5	0.1 (596%)	0.5 (100%)		
ヒラマサ	0.5	0.2 (239%)	—		
メバル類(もいお)	0.4	0.4 (95%)	0.3 (136%)		
イカ類	0.3	0.5 (69%)	1.3 (25%)		
カレイ類	0.2	0.1 (272%)	0.1 (262%)		
メダイ(たいしょううお)	0.2	0.2 (63%)	1.6 (10%)		
その他	0.4	1.6 (25%)	1.3 (31%)		
合計	10.3	11.7 (89%)	15.6 (66%)		

平年は過去10年平均